

2015-2016年度 秋の上級ライラ 報告

青少年活動委員会
委員長

高橋 一雅

(大阪北RC)

今年の秋の上級ライラは、10月10日～11日の1泊2日、六甲山YMCAで大阪心斎橋RCをホストに、『創ろう共に、心豊かな未来を。考えよう今、私達に出来る事!』をテーマに開催されました。受講生15名が参加。

1日目は午前中にマシュマロチャレンジで実習を開始。午後2時から開講式。岩佐実行委員長の開講宣言、立野ガバナー、泉直前ガバナー、丸尾RA委員長の挨拶に続き、基調講演では交響楽団指揮者の永峰大輔氏に「リーダーシップの在り方～指揮者の現場から」をテーマに熱く語って頂き、受講生と世代が近いこともあり、シンパシーの話など大いに感銘を受けました。夕食は野外に出て自炊でポトフとローストチキンを頂きました。中々の出来栄でした。食後には、智恵を絞って砂漠から脱出するコンセンサスゲームやロータリアンとの座談会と続きました。

最終日は朝7時から朝の集い、体操。朝食後のゲーム・クリエイトではグループごとにゲームを自作・実演。更にゲームをブラッシュアップして競い、一番人気のゲームを皆で楽しみました。

最後の研修「お茶のこころ」では武者小路千家の佐伯宗匠から講和を頂き、お手前を体験。皆で美味しいお抹茶を頂きました。

夕方には、各自でライラを振り返り、ホールに集まり順番に発表。そして、迎えた閉講式では松本ガバナーエレクトから一人一人にライラの手帳を手渡して頂きました。

今回は、開催から1ヶ月を切った時点で、ホストクラブからの強い要請を受け、急遽2泊3日を1泊2日に変更することになり、受講生や関係者の皆様には多大なご迷惑をおかけしました。しかし、ホストクラブの実行委員やチームライラの皆さんの努力で、なんとか開催まで持っていく事が出来ました。

終わってみると、実りあるライラであったと思います。それだけに、プログラムの短縮やファイヤートークが出来なかった事は悔やまれます。

ただ、皆さんのライラを成功させようという強い意志と受講生の皆さんの前向きな気持ちが一つになって素晴らしいライラになったと感じます。

